

歴史マップ

史跡案内板コーナー 第29回

「68 金刀毘羅神社 (祭神 大国 (物) 主命)」

九反田の中を流れる鮎川と、北側の北河原地籍の集落の背後にはより大きな百々川があり、毎年洪水の脅威にさらされていました。

宝暦年間(1751~1764)に水害を防ぐために、水神として金毘羅さんを勧請し、百々川の河川敷内(現在のゴルフ練習場の東)に祀り古金毘羅さんと呼んでいる石の祠が残されています。

この金毘羅さんを氏神として嘉永年間(1848~1854)に現在地に移され、社殿は明治三十七年(1904)に再建されました。

境内北側にある養蚕神社には、養蚕の盛んなころの明治十三年(1880)に上田の太郎山神社の御分霊を勧請し祀られています。



お知らせ・募集

ライン LINE 入門講座

基本的な使い方や、ラインアプリのダウンロード・テレビ通話など便利な機能を習得しましょう

日 時 : 7月19日(月)

持 ち 物 : ご自分のスマホ・タブレット、マスク着用
機器がなくても参加できます。

午後1時30分~午後3時30分

場 所 : 井上地域公民館2階ホール

申込期限 : 7月15日(木)(但し定員になり次第締め切り)

講 師 : NPO法人 信州 SOHO 支援協議会

申込・問合せ : 井上地域公民館 026-246-2488

定 員 : 成人10人

参加費 : 500円(テキスト代)

新型コロナワクチン接種情報 (5/28 更新・須坂市HPより)

65歳以上の方の集団接種予約

予約開始 6月10日(木)午前9時から

接種場所 須坂市北部体育館(保健センターから会場変更)

接 種 日 6/19~7/4の土日



♣ 「トランプ」ご寄附のお願い ♡

夏休み行事で使用したいので、不要なトランプがありましたら譲ってください。

福島町 ぶらっと散歩 ~歴史マップをめぐる~ 5/9 (土)

平成23年に製作した「井上源氏の里 歴史マップ」に掲載してある名所・旧跡を、井上歴史の会会員さんを講師に地域を巡る企画の第1弾として福島町の歴史を巡りました。講師は地元の市川美津夫さんが務めてくださり、14名の参加者が福島町公会堂をスタート。まずは天神社にお参りをした後、数々の案内板に沿って丁寧に説明をしてくださり、参加者からは「ここに見ざる、言わざる、聞かざるがいるよ」とか「布野の渡しはこっち方面にあったんだ」など感想を言いながら、少し肌寒い中をテクテクとお散歩しながら学びました。途中、個人では立ち入ることのないお寺の奥まで歩いて行ってしまふ参加者も・・・。特に、宿場町の面影が残っている家々が多く、タイムスリップしたような感覚を覚えました。10月は井上町です。お楽しみに!





5/20 (木)

新たにお借りした中島町の田んぼで、井上小5年生 45 名、先生・役員 23 名で手植えによる田植えを行いました。昨年は新型コロナで学校が臨時休校(分散登校)のため現6年生は代かきと機械植えの田植えの様子を見学するのみでしたが、今年はコロナ禍ではありますが、感染予防を行い児童とふれあいながらの田植えが実施できたことに学校、保護者の方々のご理解・ご協力に感謝申し上げます。心配された天気も心地よい風が吹く中、密にならないよう気をつけながら実施ができました。はじめに苗の植え方の指導を受け、1 列に並んで一斉に田に入ると「うわー気持ちわるーい」「ぬるぬるする」「冷たいー。けどあったかい」など様々な歓声が…。委員も 2 年のブランクがあり、初めはうまく進まずてこずりましたが、進むにつれ児童達もリズムカルに植えていました。苗の補給も遠くまで投げるのは難しかったけどだんだん上手に。バランスを崩し、尻もちをついてしまう子も！千曲保育園の園児もお散歩の途中、お兄さんお姉さんの姿に声援を送ってくれました。今後は、どろんこになりながら頑張って植えた苗の成長を見守ってくださいね。



「エシカル消費」って何のこと？



12 つくる責任
つかう責任



「エシカル消費」直訳すると「倫理的消費」。なんだか少し堅苦しいですね。

でも「消費」という行動は、食べることや使うこと、買物など、わたしたちの毎日の生活そのもの。

「エシカル消費」はより良い社会に向けた、人や社会、地域、環境に配慮した消費活動のことです。このキーワードを意識しながら日々を過ごしてみると、世界の未来が変わります。

●「エシカル消費」でどんなことが応援できるのでしょうか。以下は具体例の一部です。

【人や社会への配慮】商品やサービスの裏に隠されたストーリーに、思いを巡らせてみませんか？

- ・障がいがある人の支援につながる商品を選ぶ。
- ・フェアトレード商品を選ぶ。(発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に取引された商品)



【地域への配慮】地元の本屋さん、電器屋さん、肉屋さんなどでお買物をしてみませんか？

- ・地元の産品を買う。地産地消によって地域活性化や輸送エネルギーを削減。
- ・被災地の産品を買う。被災地の特産品を消費することで経済復興を応援。



【環境への配慮】日々の暮らしの中で、「もったいない」と思うことは何ですか？

- ・エコ商品を選ぶ。リサイクル素材を使ったものや資源保護等に関する認証のある商品を購入。
- ・食品ロスを減らす。必要な食品を必要なときに必要な量だけ購入。



【生物多様性への配慮】認証ラベルを調べてみませんか？

- ・認証ラベルのある商品を選ぶ。

【例】FSC 森林認証、MSC 認証 (海のエコラベル)、PSPO 認証 (環境の影響に配慮した洗剤など) など
～みんなで支え合う社会へ～

一人一人が、思いやりを持った消費行動を心掛けて、商品が届くまでの背景や廃棄された後の影響を考え、そこにある課題を知り、その解決につながるようなモノやサービスを利用することが、次の世代へバトンをつないでいく私たちの役割です。

出典：消費者庁ウェブサイト

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/material/assets/ethical_180409_0001.pdf

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/material/assets/ethical_20200825_0001.pdf を加工して作成